

## International Students Science Fair (ISSF) と International Science Schools Network (ISSN)

シンガポールで第 15 回目となる International Students Science Fair (ISSF)が開催されました。ISSF は 2004 年、オーストラリアのアデレードにおいて、Australian Science and Mathematics School (オーストラリア)、Mahidol Wittayanusorn School (タイ) と立命館高校の 3 校で順次開催をする国際科学 Fair を行うことを話し合い、翌 2005 年、第 1 回の ISSF がタイで行われました。Korea Science Academy of KAIST (韓国) もその運営に参加し、ISSF の継続開催とともに、多くの国の科学学校のネットワークを形成してきました。立命館高校においても 2008 年に第 4 回 ISSF を海外高校生 192 名 (海外参加校 32 校) の参加を得て開催しました。

2014 年、ISSF 参加校によって、International Science Schools Network (ISSN) という組織を作る議論が起こり、この ISSN が母体となって ISSF が運営されるようになりました。立命館高校も ISSN の Steering Committee (運営委員) のメンバーとして、その運営に積極的に参画しています。今回の ISSF においても ISSN の会議が行われ、今後の運営についての話し合いや、これからの ISSF 開催スケジュールを以下のように決定する議論等を行いました。



- 2020 年 1 月 Kamnoetvidya Science Academy (タイ)
- 2021 年 7 月 Beihang Experimental School (中国)
- 2022 年 5 月 Lewiston Porter Central School District (USA)
- 2023 年 12 月 Queensland Academy of Science, Mathematics and Technology (オーストラリア)

ISSN 加盟校は、立命館高校で毎年開催される Japan Super Science Fair (JSSF) の参加校と多くが重なっており、これらの学校が毎年 2 回顔を合わせる機会を持っていることの意義は大きいと考えています。ISSN は私的な集まりからスタートしたつながりではありますが、その加盟校には多くの各国トップ科学学校を含む組織であり、今後の科学教育において、たいへん重要な働きをするネットワークであると考えています。



ISSF 期間中に開催された Steering Committee Meeting の様子